

一般社団法人和歌山県臨床工学技士会・平成 26 年度第 1 回定例理事会

◇開催日時	平成 26 年 6 月 24 日（火） 18 時 30 分～19 時 50 分
◇会議方式	電子会議
◇出席理事	土井、前田、坂本、米田、西手、中村、貴志、山崎、植木、岩倉
◇委任理事	由井
◇理事会の成否	成
◇議長	土井
◇書記	土井

【報告事項】

◆理事長◆

- ・6 月 8 日 和歌山県立医科大学理事長就任祝賀会への参加（坂本事務局長・中村学術部長とともに）。
- ・医療従事者功労賞・知事感謝状等の受賞選考基準について案から正式決定【添付資料 1】
- ・7 月 1 日 知事・メディカル団体懇談会への参加（前田副理事長とともに）予定。
- ・10 月 13 日の病院協会学術大会の一般演題登録よろしく願います。

◆事務局◆

- ・総会開催に向け事業報告・計画、会計監査報告、学術集会案内等会員及び賛助会員への発送
- ・委任状回収集計中（6 月 23 日現在 参加者 14 名 委任者 36 名）
- ・委任状回収に向けてのお願いメール送信（6 月 24 日現在 68 通の回収）

◆会計部◆

- ・（一社）和臨工の平成 25 年度会計監査が完了。
- ・会計事務所からは特に問題なし。

◆学術部◆

- ・7 月 13 日に学術集会開催 プログラム作成し会員への案内は完了。

◆組織部◆

- ・近畿臨床工学会 Y ボード会議 7/20（日）予定
- ・近畿 Y・ボード シンポジウムについて

「仕事と家庭を両立させる～攻略法を求めて～」(仕事と家庭の両立＝共働き)

共働き世帯は増加傾向であり、男女ともに働く家族形態が一般的になりつつある昨今、学会では託児所が設けられるなど女性の就業を肯定的にとらえる意識は着実に増加しています。「男女共同参画」といえば、“女性の社会進出の話”と感じているかもしれませんが、女性だけではなく男性にとっても重要な問題です。結婚・育児から介護まで、家庭と仕事の両立は男女の協力がなければ成り立ちません。このセッションでは、「仕事と家庭の両立」をテーマに以下の方々にお話していただき、女性技士の現状、待遇を技士会、男性、女性、管理者の立場から様々な角度でご意見を頂き、攻略法を求めていきたいと考えております。

司会：新須磨病院 高木 雅文

京都民医連中央病院 三宅 康裕 演者

内容：女性技士に対するアンケート結果と分析（社）大阪府臨床工学技士会：南部 由喜江

なでしこネットワークの活動 (社) 京都府臨床工学技士会：今井 美穂
 院内での取り組みについて 奈良県立医科大学付属病院：井ノ上 哲智
 奈良県総合医療センター：井ノ上 景子
 夫婦で同職種からの見解 聖隷三方原病院 臨床工学室 寺谷 裕樹

◆広報部◆

- ・ホームページの随時更新
- ・高等学校等への臨床工学技士啓発活動について
 7月17日(木)に近畿大学 医用工学科の勉強会がある。
 その時に3役で作成した案内文面を提出し業務内容説明会開催への窓口を設ける手段としていく。

◆渉外部◆

- ・7月に神経ネットワークの在宅人工呼吸器の会議が開催される
- ・日本臨床工学技士会主催 第2回災害対策セミナーへの参加について (⇒審議事項へ)

【その他】

- ・近畿臨床工学技士会連絡協議会への出席 (前田副理事長)
- ・男女共同参画会議 (会議名は未確定) の適任者の選出について (⇒審議事項へ)
 次回会議 10月10日に開催 和歌山県代表として選任者の選定と出張扱いの件
- ・近畿臨床工学会 議事録参照【添付資料2】
 当県は議事録署名人が担当となる。
- ・学会拠出金の入金 (例年通り10万円)
 一般演題の応募について (24日現在応募施設は日赤・医大・那賀・新宮・近畿大学)

【審議事項】

- ①男女共同参画会議への適任者の選出について
 和歌山県代表として出席して頂くために技士会出張扱いとすることで承認。
 前田副理事長から河西田村病院の辻 (旧姓湯川) 技士が推薦。各理事からは賛成多数であり、前田副理事長から辻技士に依頼。
- ②連盟への和歌山から1名推薦について
 案内する系の選出・立候補を募ることで異論は無し。
 しばらく各県の様子を伺い、立候補者選出の早急な依頼があった場合は理事長が担うことで承認。
- ③理事会開催について
 理事会参加理事数の減少傾向及び参加メンバーの固定化が生じている為、今年度 (H26年度) より議長を担当制 (2名) にし、一年を通じ不参加とならない様対策を検討するという事案
 ➡ 議長担当・副議長 (書記) を交代制、開催日の固定化 (第4木曜日) とし、相互協力して理事会を進める。
 担当月や順番については理事長が順番表を作成し、それに沿って理事会を運営することで承認。
- ④事務局での発送業務外部委託について
 事務局の発送対応外部委託について代行可能な企業からの委託金額概算。
 100件費用概算 内訳【書面三枚分・タックシール・袋・袋詰め・メール便】 34560円
 今後の事務局からの発送代行として委託についての検討。
 ➡ 年間でどのくらいかかるかとの質問があり、約15から20万程度と考えられる。

24年または25年度の会計報告の中であれば予算に問題ないことが米田会計部長から報告。

賛助会員の減少が危惧されるが、昨年度の未納分が入れば問題ないのではとのこと。

今回正式に回答を出すのではなく、継続審議とし事務局業務を委託する方向で検討を重ねる。

⑤日本臨床工学技士会第2回災害研修セミナーの件

日本臨床工学技士会主催であり全国の技士が対象であること、会議ではないため出張扱いの範疇にない。

渉外助成金はもともと他府県における技士会への一般演題発表時に技士会から補助が出る仕組み。

そのため、今回該当セミナーへの参加による出張および助成金は該当しないと決議。

⑥現在のホームページと旧ホームページが二つあることに対し紛らわしいとの指摘。

ホームページ担当西手広報部長に何らかの方法で対応。

議事録署名

理事長 土井照雄 

副理事長 前田充徳 

事務局長 坂本亮輔 

会計部長 米田裕一 

渉外部長 植木隼人 

学術部 中村一貴 


貴志暢彦 

広報編集部 山崎将哉 

西手芳明 

組織部 由井北人 

岩倉正朋 

監事 小川昌彦 

宮本征士 